



仮想マシンの管理

ONTAP tools for VMware vSphere 105

NetApp
July 24, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-tools-vmware-vsphere-105/manage/migrate-virtual-machines.html> on July 24, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

仮想マシンの管理.....	1
ONTAP toolsにおける仮想マシンの移行とクローン作成に関する考慮事項.....	1
保護されている仮想マシンの移行.....	1
保護されている仮想マシンのクローニング.....	1
仮想マシンのスナップショット.....	2
ONTAP tools で仮想マシンを vVols データストアに移行する.....	2
ONTAP toolsでVASA構成をクリーンアップする.....	3
ONTAP toolsでVMにデータディスクを接続または切断する.....	3
仮想マシンにデータディスクを接続する.....	3
仮想マシンからデータディスクを取り外す.....	3

仮想マシンの管理

ONTAP toolsにおける仮想マシンの移行とクローン作成に関する考慮事項

ONTAP tools for VMware vSphereは、コンピューティング専用（vMotion）、ストレージ専用（Storage vMotion）、およびすべてのデータストアにわたるコンピューティングとストレージの統合移行など、すべての主要な仮想マシン移行タイプをサポートしています。このトピックでは、基盤となるデータストアのタイプに関わらず、仮想マシンの移行とクローン作成を成功させるための重要な考慮事項とベストプラクティスについて概説します。

保護されている仮想マシンの移行

保護された仮想マシンは、以下の場所に移行できます：

- 別の ESXi ホスト上の同じデータストア
- 同じESXiホスト上の別の互換性のあるデータストア
- 別のESXiホスト上の別の互換性のあるデータストア

仮想マシンを別のFlexVolボリュームに移行すると、システムはそのボリュームのメタデータファイルを仮想マシン情報で更新します。仮想マシンが別のESXiホストに移行されても、ストレージが同じ場合、基盤となるFlexVolボリュームメタデータファイルは変更されません。

仮想マシンの移行に関する情報については、Broadcomのドキュメントを参照してください：["vSphere仮想マシンの移行"](#)

保護されている仮想マシンのクローニング

保護されている仮想マシンは、次の場所にクローニングできます。

- レプリケーション グループを使用した同じ FlexVol ボリュームの同じコンテナ

同じFlexVol volumeのメタデータファイルは、クローンされた仮想マシンの詳細情報で更新されます。

- レプリケーショングループを使用した異なるFlexVolボリュームの同じコンテナ

クローンされた仮想マシンが配置されているFlexVol volumeでは、メタデータファイルがクローンされた仮想マシンの詳細情報で更新されます。

- 別のコンテナまたはvVolsデータストア

クローンされた仮想マシンが配置されているFlexVolボリュームでは、メタデータファイルが仮想マシンの詳細情報で更新されます。

VMwareは現在、VMテンプレートにクローンされた仮想マシンをサポートしていません。

保護された仮想マシンのクローンのクローンがサポートされています。

詳細については、Broadcomのドキュメントを参照してください。 "[クローン作成用の仮想マシンの作成](#)"

仮想マシンのスナップショット

ONTAP tools は、標準的な VMware ワークフローを通じて仮想マシンのスナップショットをサポートします。スナップショットは、テストやパッチの準備などのユースケースを想定した、短期的なロールバックポイントです。これらは、バックアップやレプリケーションベースのデータ保護の代替手段ではありません。スナップショット上で仮想マシンを長期間実行すると、不安定性やデータ損失を引き起こす可能性があります。

サポートされているすべてのデータストアタイプで「crash consistent state（障害など予期しないシャットダウン時と同様）」の状態のスナップショット（メモリ状態を含まないスナップショット。仮想マシンを一貫性のある状態に再起動するために使用できます）を取得できます。VMware Toolsを使用してメモリ内のデータをディスクに書き出してからキャプチャする、静止スナップショットもサポートされています。スナップショットの種類と動作の概要については、"[vSphereにおける仮想マシンのスナップショットの概要](#)"を参照してください。



メモリのスナップショットは、実行中のメモリの状態をキャプチャし、仮想マシンを一時的に停止させます。ONTAP tools のワークフローではサポートされていません。仮想マシンにメモリ スナップショットがある場合は、ONTAP tools で管理される整合性グループまたはホスト クラスタ関係に仮想マシンを含める前に、メモリ スナップショットを削除する必要があります。

ASA r2ストレージシステムでは、仮想マシンのスナップショットの動作が他のストレージタイプとは異なります。スナップショットは読み取り専用です。仮想マシンを起動すると、VASA Providerは読み取り専用のスナップショットからLUNを作成し、IOPSを有効にします。仮想マシンの電源を切ると、VASA ProviderはLUNを削除し、IOPSを無効にします。

仮想マシンのスナップショットの管理方法については、Broadcomのドキュメント "[スナップショットを使用して仮想マシンを管理する](#)"を参照してください。

ONTAP tools で仮想マシンを vVols データストアに移行する

仮想マシンを NFS および VMFS データストアから仮想ボリューム（vVols）データストアに移行することで、ポリシーベースの VM 管理およびその他の vVols 機能を活用できます。vVols データストアを利用することで、増加するワークロード要件に対応できます。

開始する前に

移行予定の仮想マシン上でVASA Providerが実行されていないことを確認してください。VASA Providerを実行している仮想マシンをvVolsデータストアに移行すると、vVolsデータストア上の仮想マシンの電源オンを含む管理操作を実行できなくなります。

タスク概要

NFSおよびVMFSデータストアからvVolsデータストアに移行する場合、vCenterサーバーは、VMFSデータストアからデータを移動する際には配列統合用vStorage API（VAAI）のオフロードを使用しますが、NFS VMDKファイルからデータを移動する際には使用しません。VAAIオフロードは通常、ホストへの負荷を軽減します。

手順

1. 移行する仮想マシンを右クリックし、**Migrate** を選択します。
2. 「ストレージのみ変更」を選択し、「次へ」を選択します。
3. 仮想ディスクフォーマット、VM ストレージポリシー、および移行対象のデータストアの機能に合致する vVol データストアを選択してください。
4. 設定内容を確認し、*完了*を選択してください。

ONTAP toolsでVASA構成をクリーンアップする

VASAのクリーンアッププロセスを完了するには、以下の手順に従ってください。



VASAのクリーンアップを開始する前に、vVolsデータストアを削除することをお勧めします。

手順

1. プラグインの登録を解除するには、https://OTV_IP:8143/Register.htmlに移動します
2. プラグインが vCenter Server で使用できなくなったことを確認します。
3. ONTAP tools for VMware vSphere VM をシャットダウンします。
4. ONTAP tools for VMware vSphere VM を削除します。

ONTAP toolsでVMにデータディスクを接続または切断する

vSphere の仮想マシンに対してデータディスクをアタッチまたはデタッチし、ストレージリソースを管理するには、次の手順に従ってください。

仮想マシンにデータディスクを接続する

仮想マシンにデータディスクを接続することで、ストレージ容量を増やすことができます。

手順

1. vSphere クライアントにログインします。
2. インベントリ内の仮想マシンを右クリックし、「設定の編集」を選択します。
3. 「仮想ハードウェア」タブで「既存のハードディスク」を選択します。
4. ディスクが存在する仮想マシンを選択してください。
5. 接続するディスクを選択し、**OK** ボタンを選択します。

結果

ハードディスクが仮想ハードウェアデバイスの一覧に表示されます。

仮想マシンからデータディスクを取り外す

不要になったデータディスクは、仮想マシンから取り外してください。ディスクは削除されません。ONTAP ストレージシステムに残ります。

手順

1. vSphere クライアントにログインします。
2. インベントリ内の仮想マシンを右クリックし、「設定の編集」を選択します。
3. ポインターをディスクの上に移動し、*削除*を選択します。



仮想マシンからディスクが取り外されました。他の仮想マシンがディスクを共有している場合、ディスクファイルは削除されません。

関連情報

["仮想マシンに新しいハードディスクを追加する"](#)

["仮想マシンに既存のハードディスクを追加する"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。